

# 町の魅力 ポスターで発信

## 三戸高校「クリエイティ部」

### 1年生 写真撮影、コピー考案

#### 三戸

県外から生徒を受け入れる「全国募集」導入校・三戸高校（直町年行校長）で本年度から1年生のカリキュラムに組み込まれた「クリエイティ部」の授業が6月26～28日行われた。1年生25人が7人のプロクリエイターたちの指導を受けながら自分たちのアイデアを具現化し、三戸町をPRするポスター作りに挑戦。町内各所を巡ってさまざまな素材写真の撮影や、レイアウト作業などに取り組んだ。

（藤田幸雄）



同校で2023年度に新設したクリエイティ部は、コピーライティングやイラスト、デザインなど社会人になってからも役立つ情報発信の基礎を学ぶ。本年度からは部活動とは別に、1年生のカリキュラムに組み込まれた。

26日は、コピーライター・写真家の目下慶太さんからキャッチコピーの付け方を学んだ。「20字以内の短い文章で」「三戸町を代表しなくてよい。自分の個人的な思いの方が人に届く」な

中心商店街沿いにある三戸大神社に向かう右段で写真撮影を行う三戸高校の生徒たち

どとアドバイスを受け、生徒たちは独創的なキャッチコピーを考えた。

27、28日は、12グループに分かれ、町内のさまざまな場所に繰り出し、それぞれのテーマに沿った素材写真の撮影に臨んだ。中心商店街やサクランボ園、神社などを訪れ、キャッチコピーをイメージしながらシャッターを切った。

このうち、「おじ・おば元気にHappy Life」をテーマに設定したグループは、商店街などで元気に働く高齢者たちを中心に撮影。高館空雅さんは「三戸のおじいちゃん、おばあちゃん元気をアビールし、明るい街と分かるポスターを作りたい」と話した。城下町の古い建物や神社の石段などを撮影した佐藤美来さんは「通りかかった人に強い印象を与えられるようなポスターにしたい」と意気込みを語った。

ポスターは1グループ1枚ずつ計12枚作成する。完成したポスターは7月14日の同校文化祭で展示する予定。